

Artfull うちうら

(2025) <vol.138>

【発行】
内浦公民館
〒919-2351
高浜町山中 104-4-2
TEL.0770-76-2007
FAX.0770-76-2008
E-mail
uchiura_c.c@town.takahama.lg.jp

内浦公民館講座

組子細工チャーム作り



令和 7 年 2 月 15 日(土)

内浦公民館 1 階会議室で【組子細工チャーム作り】を開催しました。講師は土本聡美さん。初めに写真の三角形の中から好きなガラスの色と組み紐を選びました。【麻の葉】の文様になるよう数ミリ単位で作られた小さくて軽い木を慎重に三角形の中に組み入れ、世界に一つだけの組子細工チャームが完成しました。



チャームを持って、記念写真☆
伝統工芸を身近に感じる事が出来ました

草木染め教室～うちうらレモンの葉っぱで染めてみよう～



令和 7 年 2 月 22 日(土)

内浦公民館 2 階調理実習室で【草木染め教室】を開催しました。講師は永登裕芳理さん。草木染めの工程を聞いた後、レモンの葉を切る作業を始めました。鍋でレモンの葉を煮詰めると室内がレモンの香りに包まれ、エコバックとストールが少しずつ黄色に染まるのを楽しみながら作業を続けました。最後に、うちうらレモンの葉を提供していただいた内藤達雄さん(山中区)と一緒に記念撮影。内藤さんから、今回はリスボン(レモンの種類)の葉だという事や、レモンのお話も聞きました。うちうらレモンの葉で自然でやさしい色に仕上がりました。

- 開館時間 午前8時30分～午後10時
- 利用時間 午前9時～午後9時30分 夜間利用が無い場合は午後5時で閉館いたします。
<4月の休館日> 7日(月)・14日(月)・20日(日)・21日(月)・28日(月)

内浦地区防災計画策定の為に【まちの防災研究会 理事長 松森和人 氏】をお迎えし R6年10月7日（月）から、ワークショップによる方法で防災計画を話し合ってきました。内浦地区防災計画策定委員は、内浦地区区長を中心に内浦地区で活動されている皆さん40名で構成されています。全体会議の日程も残すところ3月24日（月）だけになりました。内浦公民館2階多目的ホールに集まり、内浦地区の特性を話し合って計画の柱となったのが『地震対策』と『水害・土砂災害対策』です。それぞれ3つのグループで話し合っています。



R7年3月3日（月）の策定会議の様子です。



内浦公民館 1 階ホールでチャレンジしよう！

第一回 内浦公民館杯 公式ワナゲ大会 開催中

期間 R7.2.22(土)～R7.3.25(火)



内浦公民館に来られた皆さんに気軽に楽しんでいただけるよう、ワナゲのスペースを作りました。ルールや点数の記入についてわからない事がありましたら、お声掛けください。

何回もやればやるほど、コツがつかめるとの事です。最高点300点を目指しましょう！



館長の《こーひーぶれいく》No.119



今回は 映画 「名もなき者 /A COMPLETE UNKNOWN」です。

ずっと公開を待ちわびていたボブ・ディランの伝記映画を観ました。

1961年、憧れのウディ・ガスリィを病院へ見舞うところから、1965年のニューポート・フォーク・フェスでフォークギターからエレキに替えて、ロックに激変するところまでの5年間の軌跡を、ほとんど事実に忠実に描いています。

ディランを演じるティモシー・シャルメ。5年もの間、ギター、ハーモニカ、歌を練習し、細かいディテールまで本物そっくりに演じています。ジョン・バエズ（モニカバルバロ）、ジョニー・キャッシュ（ボイド・ホルブルック）、ピート・シーガー（エドワード・ノートン）らの歌とギターの演奏も自ら演じ、プロのミュージシャン顔負けです。40以上の当時の名曲が流され郷愁を誘われます。

物語としては、「気まぐれで、変わり者の若き天才」が田舎から出てきて、スターダムに、そして周囲の期待に背き新たな道に進んでいく。大きな展開もなく淡々と進んでいき、ディランを知らない世代には感動に欠ける感があるかもしれませんが、1960年代前半のアメリカの世相、ベトナム戦争への本格介入、黒人差別への公民権運動、キューバ危機、ケネディの暗殺なども、背景に描かれており、それを知ると、また違う感情が沸きあがるかとも思います。ディランは本人の意思とは無関係に反戦、平和の象徴として、フォークギター一本で「風に吹かれて」を歌うことを期待されてしまうのです。

ちなみに、その頃の日本は、「巨人・大鵬・卵焼き」に象徴される、巨人の9連覇、柏嶋時代、義展ちゃん誘拐事件、東京オリンピックなど戦後復興を成し遂げた時代でした。学生運動や岡林信康や高石ともやらの反戦・プロテストソング集会が行われるようになるのは60年代の後半のことです。

ディランの恋人、エル・ファニング。「時代は変わる」を聞いて、別れを予感し、一旦よりを戻すものの、彼とジョン・バエズが「悲しきベイブ It Ain't Me Babe」 ぼくは君の求めている人じゃない と歌う姿をみて、身を引く決心をする。切なくて悲しい演技には涙を誘われます。そしてこの映画全体にあふれるのは、エドワード・ノートンの優しさ。優しくも厳しくディランを見守り育て、最後は旅立ちを容認する。助演男優賞ノミネート納得です。

ラストに流れるのはやっぱりこれ「追憶のハイウェイ61」に収録の *Like a Rolling Stone*。 十代の頃からディランを聞き続けてきた私にとっては、多くのミュージシャンの伝記映画の中でも秀逸です。

以前に紹介する予定だった映画「マイ・バック・ページ」2011年公開。川本三郎氏の自伝的映画。ディランの曲「My Back Pages」がタイトルになっています。

1969年、沢田（妻夫木聡）は東大時代に安田講堂事件を目撃する。週刊誌の新米記者として、新左翼運動への取材を通じて活動家たちに共感を抱きながらも、ジャーナリストとして客観性を保つ立場に葛藤する日々を送っていた。71年、梅山（松山ケンイチ）と言う活動家の青年と知りあう。宮沢賢治を愛読しCCRの『雨を見たかい』をギターでつま弾きながら「雨ってナパーム弾のことなんですね」という梅山に沢田は親近感を覚えていく。梅山が「赤邦軍」なる組織を作り、自衛隊基地を襲撃して武器を奪う。という計画を明かされた沢田は自分に独占取材させてくれと頼むが…。



挿入歌の「My Back Pages」を真心ブラザーズ+奥田民生が「あの頃の僕より、今のほうがずっと若いさ」と、和訳で歌っています。古いものから脱却して、常に変わっていこうとするディランの本質を表しています。



第21回若狹たかはまひなまつりが2月15日(土)~3月3日(月)まで開催されました。内浦公民館に展示したひな人形を内浦保育所のこどもたちが見に来てくれた時の写真です。ひな人形の飾りやお道具など、先生と楽しくお話ししていました。



あかりをつけましょ
ぼんぼりに♪



これからの内浦公民館講座のお知らせ



お申込み・
お問合せは
内浦公民館
0770-76-
2007 まで
お願いします！

『戦後 80 年平和を考える』 ～内浦地区に隣接する海軍第三火薬廠跡～

開催日時: 令和7年3月23日(日) 午前10時30分～昼12時00分
場 所: 内浦公民館1階会議室
講 師: 朝来地方史研究所 会長 関本長三郎 氏
定 員: 15名程度
締め切り: 3月22日(土)

第二次世界大戦で使われていた海軍第三火薬廠跡地が朝来(舞鶴市)に残っています。講師の関本さんから当時の作業内容や施設の規模等のお話を聞き、戦争について又平和について一緒に考えましょう。

春のハイキング 『新しい給食センターに行ってみよう』

開催日時: 令和7年4月14日(月) 午前9時30分～午後1時

<ハイキングコース>

三松センター出発(9:30)

三松海岸道路



高浜給食センター(施設内見学の後、給食を食べます)

三松センター駐車場に出発時間10分前に集合してください。高浜給食センターまで歩きます。見学後給食を食べますので、給食代を当日集金いたします。よろしくお願いします。

■ 元気あっぷ生き生き倶楽部

【次の開催日】3月18日(火)13:30～15:00 【会場】内浦公民館2階 多目的ホール

■ らくらく運動教室

【次の開催日】3月25日(火)13:30～14:30 【会場】日引ふれあい広場